

<平成28年5月>

三鷹市議会議員 渥美 典尚 あつみのりひさNEWS



連絡先：〒181-0004 三鷹市新川4-24-7 あつみのりひさ と歩む会
電話：0422-48-6338 FAX：0422-48-6338
HP「あつみのりひさ」と検索！ atsuminorihisa@gmail.com

◆2月26日から3月23日まで、平成28年第1回定例会（3月議会）が開催されました。

今回の議会での議案としては、今年度末に完成する「新川防災公園・多機能複合施設（仮称）」に関するものが数件審議されました。

まず、正式名称が「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」に決定しました。

また、「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」内に設置される等に関して、「三鷹市生涯学習センター」に関する条例、「三鷹市子ども発達支援センター」に関する条例、「三鷹市福祉センター」に関する条例、三鷹市総合保健センター条例の一部を改正する条例、また、三鷹市市民体育施設条例の一部を改正する条例、が可決しました。その他、2件の一般会計補正予算等、合計27件が審議されました。

そして、平成28年度予算が予算審査特別委員会の設置のもと、審議されました。予算については以下に記載します。

詳細は、広報みたか、みたか議会だより、市議会ホームページなどをご覧ください。

平成28年度三鷹市予算について

3月議会において、平成28年度の三鷹市予算が決定しました。

一般会計の歳入歳出予算額は、695億3,893万円で、前年度と比較して1億3,747万2千

円（0.2%）の増となっています。

主な内容としては、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの整備が進捗したことにより事業費が減になる等で都市再生に係る経費が減少するものの、私立認可保育園開設支援、高山小学校の時限つき新校舎（15～20年間程度の使用予定）の整備、日本無線三鷹製作所南側敷地の一部取得などがあります。

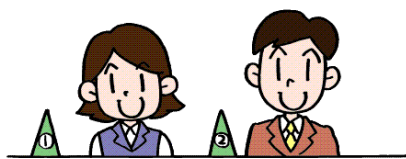
◆H28年度一般会計予算の主な項目一覧◆

人口約 18.3 万人 一般会計予算約 695 億円

歳出の主な項目	円
民生費（福祉、保育、生保等）	330 億 9 千万
土木費（道路、公園、開発等）	62 億 2 千万
教育費（学校関連、図書館等）	68 億 9 千万
総務費（役所運営、安全安心）	102 億 6 千万
衛生費（ゴミ処理・健康等）	42 億 1 千万
消防費（消防負担金・防災）	22 億 2 千万
公債費（市債の返済）	41 億 4 千万

歳入の主な項目	円
市税（市民税、固定資産税等）	367 億 9 千万
交付金（国・都。使途指定なし）	53 億 2 千万
国庫支出金（使途限定）	105 億 9 千万
都支出金（使途限定）	83 億 8 千万
繰入金（貯金の取り崩し）	14 億 9 千万
市債（建設費等の借入れ）	29 億 7 千万
使用料等（手数料、保育料等）	18 億 4 千万

特別会計の予算額は合計約 412 億 143 万円で、前年度と比較すると約 4 億 8,204 万円の (1.2%) 増です。三鷹市には五つの特別会計があります。国民健康保険事業特別会計 (約 202 億 2 千万円)、下水道事業特別会計 (約 38 億 8 千万円)、介護サービス事業特別会計 (約 11 億 2 千万円)、介護保険事業特別会計 (約 121 億 2 千万円)、後期高齢者医療特別会計 (約 38 億 5 千万円) です。いずれも横ばいから微増しております。各特別会計は、下水道の維持管理と老朽化対策、高齢化により今後も増加傾向になるものと思われます。



◆.....◆
**平成28年第1回定例会にて
市政に関する一般質問をしました。**

◆三鷹市議会3月議会にて、市政に関する一般質問を行いました。これで渥美典尚の一般質問回数は連続計36回となりました。

海外からの感染症の脅威に備えて

迅速な初動体制構築を。

太古より人々は様々な感染症との闘いを続けてきました。天然痘、ペスト、コレラ、麻疹、インフルエンザ等々、感染力が強く致死性も高い病気との格闘は、人類の歴史上に、社会的、経済的、文化的に甚大な影響を与えてきました。

海外では、SARS や MERS、エボラ出血熱といった感染症が猛威を振るった地域もあります。昨夏に頻発したデング熱や、南米で流行しているジカ熱など、蚊が媒介する感染症

の流行も心配されます。強毒型の新型インフルエンザが発生する脅威にも警戒が必要です。

世界中の国が近くなっただけ、他国で流行した感染症が日本にすぐに飛び火します。それら感染症に市民が罹患すれば市内での感染者拡大は確実であると考えます。

三鷹市には平成26年に策定された「三鷹市新型インフルエンザ等対策行動計画」がありますが、新型インフルエンザ以外にも有効に対応する策が求められます。

そこで、この「三鷹市新型インフルエンザ等対策行動計画」中の「等」は何を想定しているのか、また、この計画は新型インフルエンザ以外の対応に、どのような実効性があるのか、さらには、初動対応をどのように準備しているのかを質問しました。

市では、この行動計画は未知の感染症発生時には市民の生命と健康を保護することを目的としており、これを基本とした対応により実効性が保たれていると考えているとのことです。内容は、医師会や都などの関係機関との連携も網羅されており、現段階では評価して良いものと考えます。

いざという時の準備は怠りなく進めるよう提言を続けます。

◆.....◆

**新たに『三鷹駅前再開発事業対策
特別委員会』が設置されました。**

駅南口の主に UR が所有する三鷹センター等一連の建物や、さくら通り駐車場等の再開発に関する基本計画・事業等に係る諸問題について調査検討し、対策をする委員会です。

手作り、簡易印刷の活動報告です。
印刷の品質はご容赦ください。
あつみのりひさ NEWS のバックナンバーは
ホームページに掲載しております。